
本書（リメイク版）について

～リメイクで変えたこと、変えなかったこと～

本書の初版が刊行されてから、長い時間が経ちました。その間、FXを取り巻く環境は大きく変わり、取引ツールも、情報を得る方法も、トレーダーの学び方も変わりました。

一方で、私たちがその後もトレードと向き合い、多くのトレーダーと接するなかで、あらためて実感したことがあります。それは、**資金管理の重要性は、当時から何ひとつ変わっていない**ということです。

むしろ、誰もが簡単に取引を始められ、さまざまな情報やトレード手法に触れられるようになった今だからこそ、「いくらまでなら損失を許容できるのか」「どれくらいのポジションを持つのか」といった基本を身につけることの重要性は、以前にも増しているように思います。

そこで今回、本書を現在の読者にもあらためて届けられる形にして、リメイク版として刊行することになりました。

ただし、すべてを新しく書き換えるわけではありません。**変えるべきところは変える。しかし、時代が変わっても通用するものは、あえて変えない**。その考え方を大切にしながら、今回のリメイクに取り組みました。

1) 「変わらないまま」でよいものもある

今回、本書をリメイクするにあたっては、本文の内容そのものは大

きく変更していません。資金管理で「やるべきこと」は、今もほとんど変わっていないからです。

◎どれだけの損失までなら許容できるのか

◎どれくらいのポジションを持つのか

◎どこで損切りをするのか

◎利益が出たときに、どうやってそれを伸ばしていくのか

相場環境が変わっても、取引する商品が変わっても、使う道具が変わっても、こうした資金管理の基本が変わることはありません。

むしろ、時代が変わっても通用する内容だからこそ、今回のリメイクでも、その骨格をできる限り残すことにしました。

2) わかった風を、「わかった！」にする

では、なぜリメイクしたのでしょうか。

今回、大きく追加したものがあります。それは、本書に新しく加えた**「学習機能」**です。

本を読んでいると、そのときは「なるほど」「わかった」と感じるものです。ところが、本を閉じたあとに、

「では、今、読んだ内容を説明してください」

と言われても、意外と言葉が出てこないことがあります。

特に資金管理は、ひとつひとつの考え方だけを見れば、それほど難しいものではありません。

「損失を限定しましょう」
「リスクを取りすぎないようにしましょう」
「ポジションサイズを管理しましょう」

そう言われれば、多くの人が「そんなことはわかっている」と思うでしょう。

しかし、「わかっている」ことと、実際のトレードで「できる」ことは別です。

自分のお金が増えたり減ったりする状況になれば、感情も入ってきます。頭では損切りすべきだとわかっているけど切れない。利益が出れば、もっと儲かるのではないかと欲が出る。負けが続けば、取り返そうとして普段より大きなポジションを持ってしまう。

知識として知っているだけでは、実際のトレードでは使えないことがあるのです。だからこそ今回のリメイクでは、ただ「読む」だけでなく、「学ぶ」ための仕組みを加えることにしました。

読む → 振り返る → 考える → 確かめる

各章の最後には、その章で学んだ内容を定着させるための学習機能を用意しました。

まず「**1分で復習**」で、その章の重要ポイントを振り返ります。

次に「**ポイント解説**」で、特に押さえておきたい考え方を、もう一度、簡潔に整理します。

最後に「**章末トレーニング**」に挑戦します。

この目的は、「正解したかどうか」を競うことではありません。大切なのは、自分が「どこまで理解できているのか」を確認することです。正解した問題でも、「なぜ、それが正解なのか」を自分の言葉で説明できなければ、まだ完全に理解できている、とは言えないかもしれません。

反対に、答えに迷った問題や間違えた問題は、「自分の理解がまだ曖昧なところだった」と教えてくれています。そんなときは、該当する本文に戻って、もう一度読んでみてください。

読む → 振り返る → 考える → 確かめる → 必要なら本文に戻る

この繰り返しによって、「読んでわかったつもり」の状態から、本当の意味で「わかった」という状態へと、一段ずつ理解を深めていってほしいと思います。

3) 最後は「自分のルール」にする

本書を読み終え、章末トレーニングですべて正解できたとしても、それだけで終わりではありません。

最終的な目標は、本書に書かれていることを覚えることではなく、それを自分自身の資金管理ルールに落とし込むことです。

「1回のトレードで、自分はいくらまでなら失っていいのか」

「どこで損切りするのか」

「どのくらいのポジションサイズなら無理なく持てるのか」

「どんな状況ならポジションを増やすのか」

こうした問いに対して、自分なりの答えを持てるようになってください。

**知る→理解する→確かめる→模擬体験する（間違える→修正する）→
自分のルールにする→そして、実践する**

そこまでできて、初めて**資金管理は「知識」から「技術」へと変わります。**

本書を、最初から最後まで一度読んで終わりにする本ではなく、問題を解き、迷ったら本文に戻り、何度も確認しながら、自分自身の資金管理を作り上げていくための本として使ってください。それが、今回のリメイクで新たに加えた「学習機能」の狙いです。